

エルシーブイ FM 第 103 回放送番組審議会

1. 日時 2024 年 5 月 30 日 (木) 13 時 00 分から 14 時 00 分

2. 場所 諏訪市四賀 エルシーブイ株式会社 本社

3. 出席者 委員定数 6 名

出席委員 6 名

佐久 秀幸 委員長

宮坂 ちとせ 副委員長

竹花 顕宏 委員

小平 茂徳 委員

岩波 尚宏 委員

小池 征弥 委員 (宮坂 宥憲 委員代理)

欠席委員

なし

放送事業者側 8 名

深井 賀博 代表取締役社長

大野 弘信 専務取締役

堀川 久志 放送制作部長

小池 利幸 放送制作部放送コミュニケーション課長

吉田 和晃 放送制作部コンテンツ制作課長

早川 達朗 放送制作部編成課長

佐野 銀次朗 放送制作部放送システム課長

中島 裕子 放送制作部放送コミュニケーション課

4. 議事次第

・ LCV-FM 自主制作番組について (5 時スタ☆) について審議

5. 議事の概要

【審査番組】

LCV-FM で自主制作している通常番組 11 と特別番組 4 つについて紹介。また、通常放送の「5 時スタ☆」については新しいパーソナリティー担当回の音源を聞いていただいた。

自主制作番組に関する主な意見としては

□自主制作番組について

- ・それなり電鉄に出演したことがあるが、「聴いたよ」と反響があった
- ・はたらくみかたに JC のメンバーを出演させてはどうか（経営者が多いので）
- ・ラジオを聞く人はどういう人なのか（例えば車を運転している人・事業所で働く人・目の不自由な方）を考え、ターゲットを絞った番組づくりをしてみてもいい
- ・ラジオは生もので会話を大事に、想像を巡らせて話してもらえたらいい
- ・ラジオは情報を伝えるだけでなく、人の心の中も伝えていくメディアだと思う

□5時スタ☆について

- ・「いっとくなくとく 119」のコーナーで女性消防士が出演していて、頑張っている様子がよく分かった
- ・消防士の話が分かりやすかったし、女性視点の話が聞けて良かった
- ・原稿を読むのではなく消防士とのディスカッションがあればよかった
- ・安全安心インフォメーションの警察の方の話がためになった
- ・パーソナリティーの声が聴きやすかった
- ・ラジオとはためになる話を聞くものと思っていたが、パーソナリティーが日常で何気なく感じたことを聞くのも自分自身のことを考えるきっかけになった
- ・地元のグルメについて話があって興味を持った
- ・天気・道路・お知らせ・ニュース等の情報の時は、フリートークの時と伝え方が違って分かりやすかった
- ・メッセージ紹介では母の日のプレゼントについて等タイムリーな話題でよかった
- ・出身地（奈良）と諏訪地域を比較したトークは面白い

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。